

事実。 コンクリートはCO₂を吸収する。

コンクリートは空気中のCO₂（二酸化炭素）をゆっくりと吸収する性質があります。
これには材料であるセメントが関係しています。

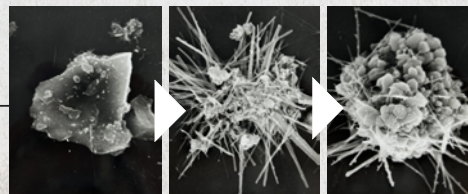
コンクリートって何？

コンクリートは、主に以下の材料からできています。

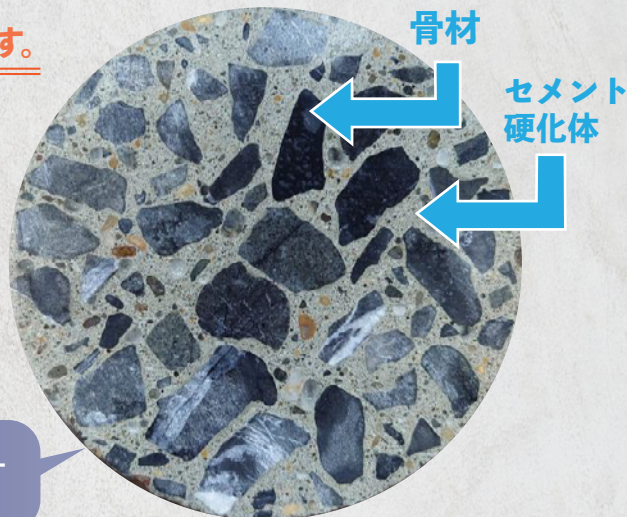
- ・セメント（石灰石などを焼いて粉にしたもの）
- ・水
- ・砂と砂利（骨材）



セメントと水が反応（水和反応）して固まりコンクリートになります。



水和反応により硬くなる



骨材

セメント
硬化体

コンクリートの断面写真

セメントはコンクリートを作るために欠かせない材料です

どうしてコンクリートがCO₂を吸収するのか？

コンクリートが固まった後、空気中のCO₂とゆっくり反応します。

CO₂を吸収する理由

セメントが水と反応して固まりコンクリートになるとき、水酸化カルシウムができます。

コンクリートの中の水酸化カルシウムが、空気中のCO₂と徐々に反応します。
（セメントカーボネーション）

この反応によってCO₂が少しずつ吸収されます。これは表面から内部にゆるやかに進行します。

事実、コンクリートはCO₂を吸収するのです。